



串原地区防災計画

～自分たちの地域と命を自分たちで守る～



平成28年1月

串原地域自治区

串原地域の特性

串原は山間地で、さらに脆い地質が多く、土砂災害の危険性が高い地域です。また各地区が離れているため、災害時には孤立集落ができることが予想されます。

事実、過去の「平成元年豪雨災害」や「平成12年恵南豪雨災害」でも、多くの土砂災害が起こり、他地域から串原までの道路や、地区間の道路が寸断され、孤立集落ができ、また平成26年2月には豪雪による倒木でも孤立集落ができました。

地震災害においては、過去に大きな被害を受けたという言い伝えはなく、明治24年の濃尾地震でも、わずかに亀裂が起こった程度とされています。

しかし、今後起こりうる「南海トラフ巨大地震」においては、恵那市内では震源に最も近く、市における最大震度の震度6弱が予想されており、また、存在する家屋が耐震基準を満たさない古いものが大半を占めるなど、地震による被害も楽観はできないと言えます。

串原の防災体制と対策

上記のように串原は地区が分散されているため、12ある自治会を5ブロックに分けて、それぞれのブロックごとで体制をつくり、防災対策に取り組みます。

上川ブロック	1区（福原・森上）	2区（大竹・岩倉）	3区（相走・大野）
下川ブロック	6区（閑羅瀬）	7区（川ヶ渡）	
根通りブロック	8区（柿畑）	9区（木根）	10区（大平）
	12区（峯）	13区（松林）	
松本ブロック	11区（松本・平山・戸中）		
中沢ブロック	14区（中沢）		

基本方針

私たちは、災害時に命を絶対に守ります。

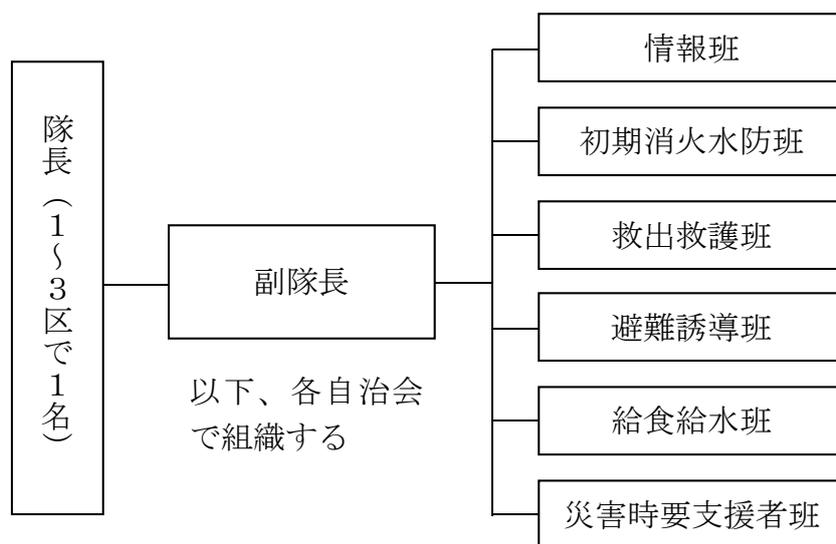
活動目標

- ①地域コミュニティを大切にし、災害時に素早い対応ができるようにします。
- ②各家庭における防災対策を進め、災害時の被害軽減と早期復旧を目指します。
- ③全ての住民が自分の役割やできることを考え、地域全体で災害に取り組みます。

串原地区（上川ブロック）防災計画

防災活動編成

1～3区で隊長1名を選出し、その下に各自治会で副隊長と次の班を編制し、防災活動を行う。



各役割の活動内容

- 隊長 副隊長から寄せられた各自治会における被害・避難状況などの情報を集約する。またその情報によって、今後求められる活動や必要な物資などを分析し、各自治会へ指示するとともに、行政や消防などへの報告や要望をするなど、上川ブロック全体を考慮しての指揮にあたる。
- 副隊長 各班から寄せられた自治会内の被害・避難状況、災害対応状況などの情報を集約し、隊長へ報告する。また隊長からの指示等を地域住民へ伝達する。
- 情報班 自治会内の被害状況、地域住民の避難状況や所在等の情報を収集・整理し、副隊長へ報告する。
- 初期消火水防班 火災発生時には初期消火活動に、水害時には土のう製作及び積み上げ等に従事し、消防団と連携し活動する。
- 救出救護班 取り残された人や負傷者の救出（ただし、容易なものに限る）と応急手当などの救護活動にあたる。
- 避難誘導班 集合場所や避難所などへの避難誘導と避難経路の安全確認にあたる。

○給食給水班 避難者への食料や飲料水の分配と消防団やボランティアへの炊き出し活動にあたる。

○災害時要支援者班 避難行動や避難所生活において自立が困難な高齢者や障がい者への支援にあたる。

活動内容

目標①に向けた活動

現在においても地域コミュニティは比較的良好であります。防災訓練時など様々な機会に、地域防災の弱点や災害危険箇所について話し合ったり現場検証を行ったりするなど、地域コミュニティが希薄にならないよう努めます。また今後話し合い等の結果をこの地区防災計画に反映させていきます。

目標②に向けた活動

各家庭の防災対策を進めます。実施が困難な世帯においては、地域や消防団等の力を借りながら行っていきます。

目標③に向けた活動

防災活動編成において、災害時にすぐ活用できる編成を整えるために、地域内の人材や要支援者等の把握を行います。住民各自の特技や特性を活かした編成をするとともに、各班においては具体的な訓練計画や活動内容を打ち出し、この地区防災計画に反映させていきます。

家庭における防災対策



災害時における家庭内のルール決め

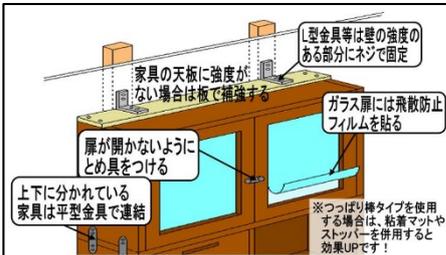
災害時にどこへ、どうやって、どこを通過して避難するかなど、家庭内でのルールや役割を決めておきます。

また外出時に災害が起こった場合の集合場所や連絡方法についても話し合います。



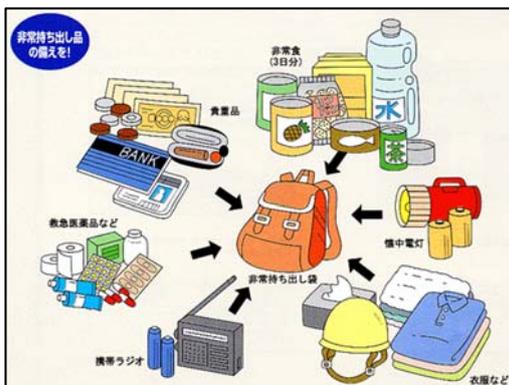
火災報知器の設置

すべての寝室と階段部に火災報知器を設置します。
また台所への設置も努力します。



家具転倒防止等の推進

タンスや本棚など背の高い家具や、冷蔵庫やテレビなどの家電製品の転倒防止やガラスや食器等の飛散防止を推進します。



家庭内備蓄と非常持ち出し袋の整備

家族3日分程度の食料や飲料の備蓄をします。

また飲食料や衣類、貴重品や防災グッズ等がすぐに持ち出せるよう準備をします。

私たちの避難場所

大雨のとき

雨あしが弱いうちに早めに

- ①串原総合福祉センター ②サンホールくしはら
③メダリオン・ベルグラビアリゾート ④上矢作子ども園

へ避難します。(番号順に優先順)

避難する前に雨あしが強くなってしまったら

自宅の安全な場所（崩れそうな場所から遠い部屋や2階など）
へ移動します。

または

近所の安全な家へ避難させてもらいます。

地震のとき

自宅が傾いた、壁に大きなヒビが入ったなどして危険を感じた場合には

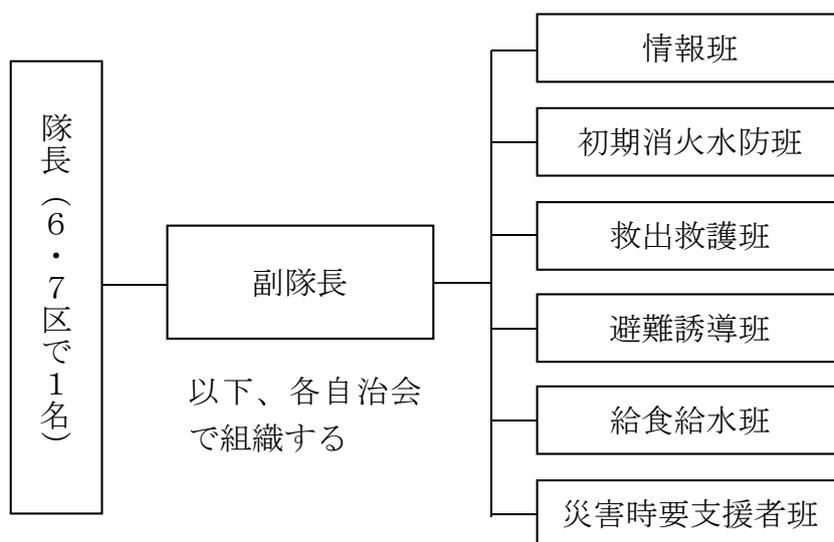
奥矢作レクセンター

へ避難します。

串原地区（下川ブロック）防災計画

防災活動編成

6、7区で隊長1名を選出し、その下に各自治会で副隊長と次の班を編制し、防災活動を行う。



各役割の活動内容

- 隊長 副隊長から寄せられた各自治会における被害・避難状況などの情報を集約する。またその情報によって、今後求められる活動や必要な物資などを分析し、各自治会へ指示するとともに、行政や消防などへの報告や要望をするなど、下川ブロック全体を考慮しての指揮にあたる。
- 副隊長 各班から寄せられた自治会内の被害・避難状況、災害対応状況などの情報を集約し、隊長へ報告する。また隊長からの指示等を地域住民へ伝達する。
- 情報班 自治会内の被害状況、地域住民の避難状況や所在等の情報を収集・整理し、副隊長へ報告する。
- 初期消火水防班 火災発生時には初期消火活動に、水害時には土のう製作及び積み上げ等に従事し、消防団と連携し活動する。
- 救出救護班 取り残された人や負傷者の救出（ただし、容易なものに限る）と応急手当などの救護活動にあたる。
- 避難誘導班 集合場所や避難所などへの避難誘導と避難経路の安全確認にあたる。

○給食給水班 避難者への食料や飲料水の分配と消防団やボランティアへの炊き出し活動にあたる。

○災害時要支援者班 避難行動や避難所生活において自立が困難な高齢者や障がい者への支援にあたる。

活動内容

目標①に向けた活動

現在においても地域コミュニティは比較的良好であります。防災訓練時など様々な機会に、地域防災の弱点や災害危険箇所について話し合ったり現場検証を行ったりするなど、地域コミュニティが希薄にならないよう努めます。また今後話し合い等の結果をこの地区防災計画に反映させていきます。

目標②に向けた活動

各家庭の防災対策を進めます。実施が困難な世帯においては、地域や消防団等の力を借りながら行っていきます。

目標③に向けた活動

防災活動編成において、災害時にすぐ活用できる編成を整えるために、地域内の人材や要支援者等の把握を行います。住民各自の特技や特性を活かした編成をするとともに、各班においては具体的な訓練計画や活動内容を打ち出し、この地区防災計画に反映させていきます。

家庭における防災対策



災害時における家庭内のルール決め

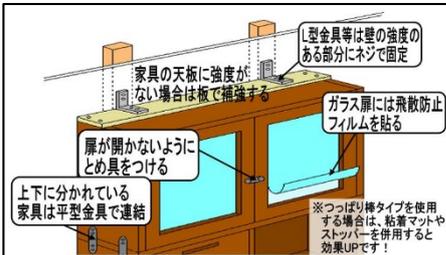
災害時にどこへ、どうやって、どこを通過して避難するかなど、家庭内でのルールや役割を決めておきます。

また外出時に災害が起こった場合の集合場所や連絡方法についても話し合います。



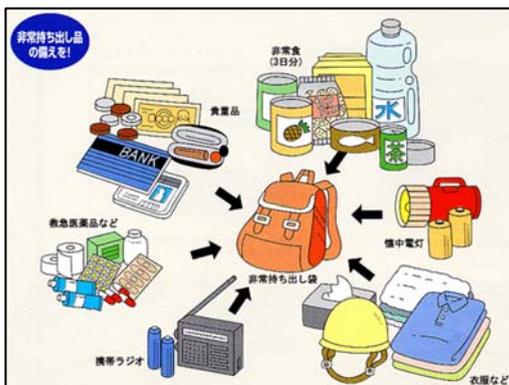
火災報知器の設置

すべての寝室と階段部に火災報知器を設置します。
また台所への設置も努力します。



家具転倒防止等の推進

タンスや本棚など背の高い家具や、冷蔵庫やテレビなどの家電製品の転倒防止やガラスや食器等の飛散防止を推進します。



家庭内備蓄と非常持出袋の整備

家族3日分程度の食料や飲料の備蓄をします。

また飲食料や衣類、貴重品や防災グッズ等がすぐに持ち出せるよう準備をします。

私たちの避難場所

大雨のとき

雨あしが弱いうちに早めに

①串原総合福祉センター

②サンホールくしはら

へ避難します。(番号順に優先順)

避難する前に雨あしが強くなってしまったら

自宅の安全な場所（崩れそうな場所から遠い部屋や2階など）へ移動します。

または

近所の安全な家へ避難させてもらいます。

地震のとき

自宅が傾いた、壁に大きなヒビが入ったなどして危険を感じた場合には

①串原総合福祉センター

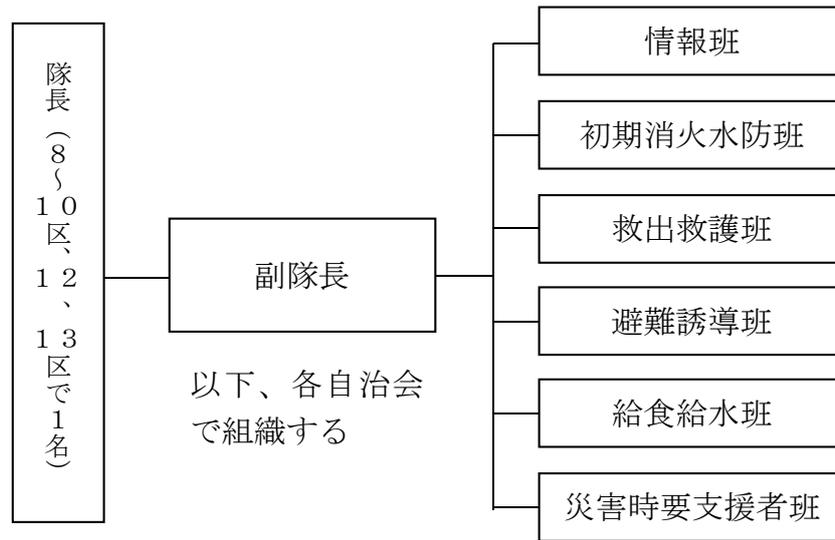
②サンホールくしはら

へ避難します。(番号順に優先順)

串原地区（根通りブロック）防災計画

防災活動編成

8～10区、12、13区で隊長1名を選出し、その下に各自治会で副隊長と次の班を編制し、防災活動を行う。



各役割の活動内容

- 隊長 副隊長から寄せられた各自治会における被害・避難状況などの情報を集約する。またその情報によって、今後求められる活動や必要な物資などを分析し、各自治会へ指示するとともに、行政や消防などへの報告や要望をするなど、根通りブロック全体を考慮しての指揮にあたる。
- 副隊長 各班から寄せられた自治会内の被害・避難状況、災害対応状況などの情報を集約し、隊長へ報告する。また隊長からの指示等を地域住民へ伝達する。
- 情報班 自治会内の被害状況、地域住民の避難状況や所在等の情報を収集・整理し、副隊長へ報告する。
- 初期消火水防班 火災発生時には初期消火活動に、水害時には土のう製作及び積み上げ等に従事し、消防団と連携し活動する。
- 救出救護班 取り残された人や負傷者の救出（ただし、容易なものに限る）と応急手当などの救護活動にあたる。
- 避難誘導班 集合場所や避難所などへの避難誘導と避難経路の安全確認にあたる。

○給食給水班 避難者への食料や飲料水の分配と消防団やボランティアへの炊き出し活動にあたる。

○災害時要支援者班 避難行動や避難所生活において自立が困難な高齢者や障がい者への支援にあたる。

活動内容

目標①に向けた活動

現在においても地域コミュニティは比較的良好であります。防災訓練時など様々な機会に、地域防災の弱点や災害危険箇所について話し合ったり現場検証を行ったりするなど、地域コミュニティが希薄にならないよう努めます。また今後話し合い等の結果をこの地区防災計画に反映させていきます。

目標②に向けた活動

各家庭の防災対策を進めます。実施が困難な世帯においては、地域や消防団等の力を借りながら行っていきます。

目標③に向けた活動

防災活動編成において、災害時にすぐ活用できる編成を整えるために、地域内の人材や要支援者等の把握を行います。住民各自の特技や特性を活かした編成をするとともに、各班においては具体的な訓練計画や活動内容を打ち出し、この地区防災計画に反映させていきます。

家庭における防災対策



災害時における家庭内のルール決め

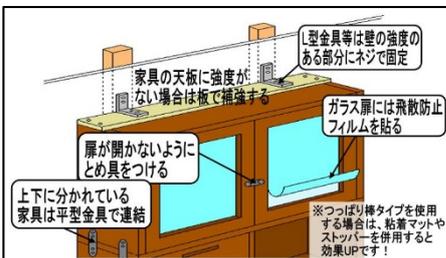
災害時にどこへ、どうやって、どこを通過して避難するかなど、家庭内でのルールや役割を決めておきます。

また外出時に災害が起こった場合の集合場所や連絡方法についても話し合います。



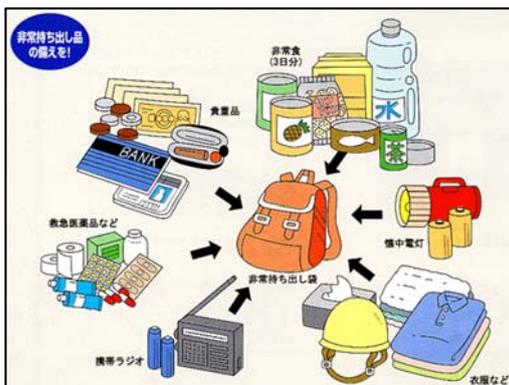
火災報知器の設置

すべての寝室と階段部に火災報知器を設置します。
また台所への設置も努力します。



家具転倒防止等の推進

タンスや本棚など背の高い家具や、冷蔵庫やテレビなどの家電製品の転倒防止やガラスや食器等の飛散防止を推進します。



家庭内備蓄と非常持ち出し袋の整備

家族3日分程度の食料や飲料の備蓄をします。

また飲食料や衣類、貴重品や防災グッズ等がすぐに持ち出せるよう準備をします。

私たちの避難場所

大雨のとき

雨あしが弱いうちに早めに

- ①串原総合福祉センター ②サンホールくしはら

へ避難します。(番号順に優先順)

避難する前に雨あしが強くなってしまったら

自宅の安全な場所（崩れそうな場所から遠い部屋や2階など）へ移動します。

または

近所の安全な家へ避難させてもらいます。

地震のとき

自宅が傾いた、壁に大きなヒビが入ったなどして危険を感じた場合には

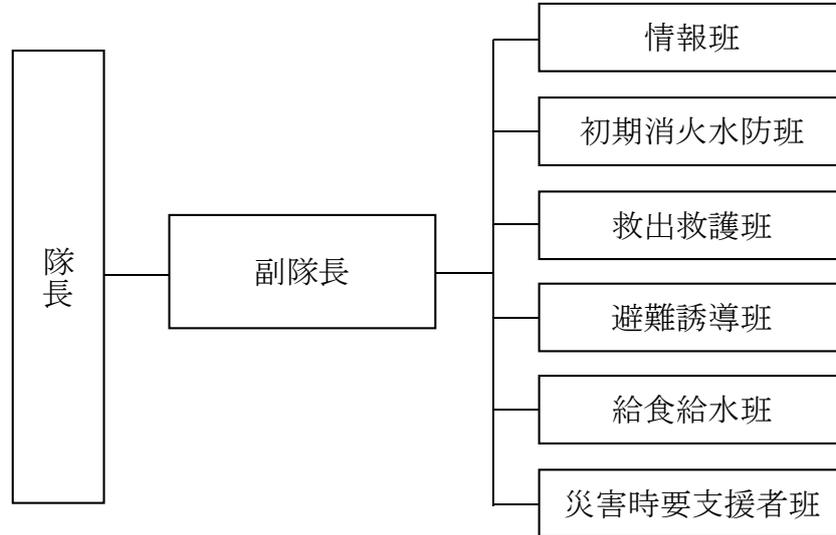
- ①串原総合福祉センター ②サンホールくしはら

へ避難します。(番号順に優先順)

串原地区（松本ブロック）防災計画

防災活動編成

隊長 1 名を選出し、その下に副隊長と次の班を編制し、防災活動を行う。



各役割の活動内容

- 隊長 副隊長から寄せられた自治会内における被害・避難状況などの情報を集約する。またその情報によって、今後求められる活動や必要な物資などを分析し、自治会内へ指示するとともに、行政や消防などへの報告や要望をするなど、全体を考慮しての指揮にあたる。
- 副隊長 各班から寄せられた自治会内の被害・避難状況、災害対応状況などの情報を集約し、隊長へ報告する。また隊長からの指示等を地域住民へ伝達する。
- 情報班 自治会内の被害状況、地域住民の避難状況や所在等の情報を収集・整理し、副隊長へ報告する。
- 初期消火水防班 火災発生時には初期消火活動に、水害時には土のう製作及び積み上げ等に従事し、消防団と連携し活動する。
- 救出救護班 取り残された人や負傷者の救出（ただし、容易なものに限る）と応急手当などの救護活動にあたる。
- 避難誘導班 集合場所や避難所などへの避難誘導と避難経路の安全確認にあたる。

- 給食給水班 避難者への食料や飲料水の分配と消防団やボランティアへの炊き出し活動にあたる。
- 災害時要支援者班 避難行動や避難所生活において自立が困難な高齢者や障がい者への支援にあたる。

活動内容

目標①に向けた活動

現在においても地域コミュニティは比較的良好であります。防災訓練時など様々な機会に、地域防災の弱点や災害危険箇所について話し合ったり現場検証を行ったりするなど、地域コミュニティが希薄にならないよう努めます。また今後話し合い等の結果をこの地区防災計画に反映させていきます。

目標②に向けた活動

各家庭の防災対策を進めます。実施が困難な世帯においては、地域や消防団等の力を借りながら行っていきます。

目標③に向けた活動

防災活動編成において、災害時にすぐ活用できる編成を整えるために、地域内の人材や要支援者等の把握を行います。住民各自の特技や特性を活かした編成をするとともに、各班においては具体的な訓練計画や活動内容を打ち出し、この地区防災計画に反映させていきます。

家庭における防災対策



災害時における家庭内のルール決め

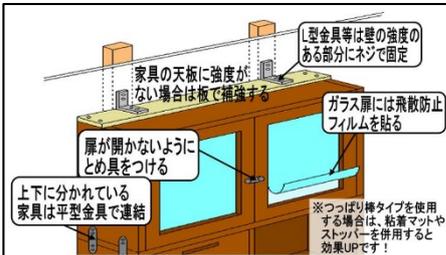
災害時にどこへ、どうやって、どこを通過して避難するかなど、家庭内でのルールや役割を決めておきます。

また外出時に災害が起こった場合の集合場所や連絡方法についても話し合います。



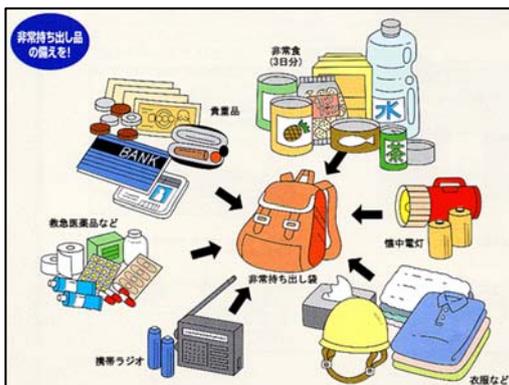
火災報知器の設置

すべての寝室と階段部に火災報知器を設置します。
また台所への設置も努力します。



家具転倒防止等の推進

タンスや本棚など背の高い家具や、冷蔵庫やテレビなどの家電製品の転倒防止やガラスや食器等の飛散防止を推進します。



家庭内備蓄と非常持ち出し袋の整備

家族3日分程度の食料や飲料の備蓄をします。

また飲食料や衣類、貴重品や防災グッズ等がすぐに持ち出せるよう準備をします。

私たちの避難場所

大雨のとき

雨あしが弱いうちに早めに

- ①串原総合福祉センター ②サンホールくしはら
③メダリオン・ベルグラビアリゾート

へ避難します。(番号順に優先順)

避難する前に雨あしが強くなってしまったら

自宅の安全な場所（崩れそうな場所から遠い部屋や2階など）へ移動します。

または

近所の安全な家へ避難させてもらいます。

地震のとき

自宅が傾いた、壁に大きなヒビが入ったなどして危険を感じた場合には

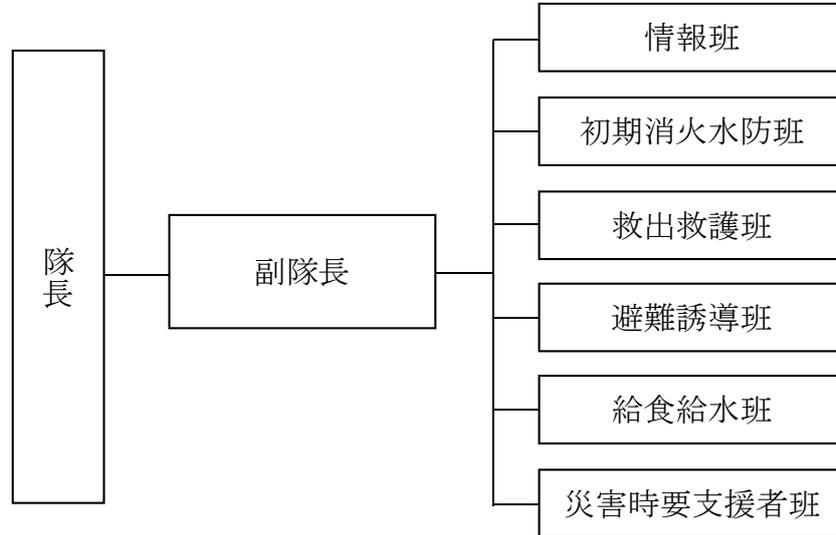
- ①串原総合福祉センター ②サンホールくしはら
③メダリオン・ベルグラビアリゾート

へ避難します。(番号順に優先順)

串原地区（中沢ブロック）防災計画

防災活動編成

隊長 1 名を選出し、その下に副隊長と次の班を編制し、防災活動を行う。



各役割の活動内容

- 隊長 副隊長から寄せられた自治会内における被害・避難状況などの情報を集約する。またその情報によって、今後求められる活動や必要な物資などを分析し、自治会内へ指示するとともに、行政や消防などへの報告や要望をするなど、全体を考慮しての指揮にあたる。
- 副隊長 各班から寄せられた自治会内の被害・避難状況、災害対応状況などの情報を集約し、隊長へ報告する。また隊長からの指示等を地域住民へ伝達する。
- 情報班 自治会内の被害状況、地域住民の避難状況や所在等の情報を収集・整理し、副隊長へ報告する。
- 初期消火水防班 火災発生時には初期消火活動に、水害時には土のう製作及び積み上げ等に従事し、消防団と連携し活動する。
- 救出救護班 取り残された人や負傷者の救出（ただし、容易なものに限る）と応急手当などの救護活動にあたる。
- 避難誘導班 集合場所や避難所などへの避難誘導と避難経路の安全確認にあたる。

- 給食給水班 避難者への食料や飲料水の分配と消防団やボランティアへの炊き出し活動にあたる。
- 災害時要支援者班 避難行動や避難所生活において自立が困難な高齢者や障がい者への支援にあたる。

活動内容

目標①に向けた活動

現在においても地域コミュニティは比較的良好であります。防災訓練時など様々な機会に、地域防災の弱点や災害危険箇所について話し合ったり現場検証を行ったりするなど、地域コミュニティが希薄にならないよう努めます。また今後話し合い等の結果をこの地区防災計画に反映させていきます。

目標②に向けた活動

各家庭の防災対策を進めます。実施が困難な世帯においては、地域や消防団等の力を借りながら行っていきます。

目標③に向けた活動

防災活動編成において、災害時にすぐ活用できる編成を整えるために、地域内の人材や要支援者等の把握を行います。住民各自の特技や特性を活かした編成をするとともに、各班においては具体的な訓練計画や活動内容を打ち出し、この地区防災計画に反映させていきます。

家庭における防災対策



災害時における家庭内のルール決め

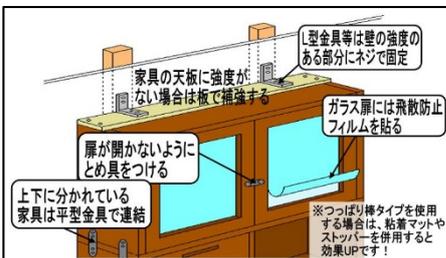
災害時にどこへ、どうやって、どこを通過して避難するかなど、家庭内でのルールや役割を決めておきます。

また外出時に災害が起こった場合の集合場所や連絡方法についても話し合います。



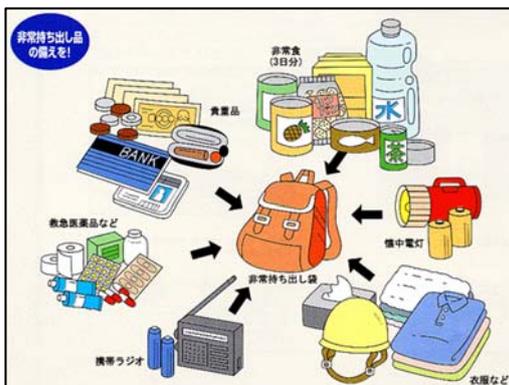
火災報知器の設置

すべての寝室と階段部に火災報知器を設置します。
また台所への設置も努力します。



家具転倒防止等の推進

タンスや本棚など背の高い家具や、冷蔵庫やテレビなどの家電製品の転倒防止やガラスや食器等の飛散防止を推進します。



家庭内備蓄と非常持ち出し袋の整備

家族3日分程度の食料や飲料の備蓄をします。

また飲食料や衣類、貴重品や防災グッズ等がすぐに持ち出せるよう準備をします。

私たちの避難場所

大雨のとき

雨あしが弱いうちに早めに

- ①串原総合福祉センター ②サンホールくしはら
③明智東方センター

へ避難します。(番号順に優先順)

避難する前に雨あしが強くなってしまったら

自宅の安全な場所（崩れそうな場所から遠い部屋や2階など）へ移動します。

または

近所の安全な家へ避難させてもらいます。

地震のとき

自宅が傾いた、壁に大きなヒビが入ったなどして危険を感じた場合には

- ①串原総合福祉センター ②サンホールくしはら
③明智東方センター

へ避難します。(番号順に優先順)